

# Takamatsu City Assembly Report

たかまつ市議会レポート

TKMT  
高松

令和7年  
12月定例会  
冬号

令和8(2026)年2月1日発行(第224号)

常任委員会ってなにしてるの?  
その答え、全部見せます。

総務常任委員会

市の政策や計画・戸籍・財政・広報など全体的なこと

教育民生常任委員会

教育・福祉・子育て・病院など生活の基本的なこと

経済環境常任委員会

商工・観光・文化・スポーツ・環境・市場など生活の充実に関わること

建設消防常任委員会

道路・公園・建設・消防など生活の基盤に関わること

# 経済環境常任委員会



経済環境常任委員会では、商工・観光・農林水産・市場・文化・スポーツ・競輪・環境など幅広い分野を所管しています。「地域経済の活性化」と「環境にやさしいまちづくり」をテーマに、さまざまな課題や取組を調査・検討しながら、高松市のさらなる活性化を目指しています。

## アート(文化芸術) de つなぐ、まちなか回遊づくり

令和6年度の所管事務調査では、アートの力で、人とまち、地域と世代をつなぐまちづくりについて調査を行いました。高松第一高等学校の生徒との意見交換会では、「地域の情報が届きにくい」「自分たちの発表の場が欲しい」などといった率直な声が寄せられました。

また、香川大学生との意見交換会や他都市の視察を経て、次のような提言を行いました。

提言

- 日常的にどこかで芸術活動が行われているような機運の醸成
- これまで活用されていなかった空間を掘り起こし、アーティストが活動しやすい場の創出
- 学生をはじめ誰もが気軽に使える発表の場の提供

今後もまちの中にアートを感じられる環境づくりを進めることで、地域のにぎわいと創造的な文化の芽を育てます。



《過去のテーマ》  
・地域脱炭素化に向けた先進的な取組について  
・農業を支える多様な担い手の確保・育成について など

常任委員会

Q&A



**Q 所管事務調査って?**

A 議会には会期があり、委員会の活動も年に4回の定例会が中心です。高松市議会では、市にとって重要なテーマを委員会ごとに決めて、定例会以外でも年間を通じて調査・研究に取り組んでいます。その取組を所管事務調査と言います。

**Q 常任委員会とは?**

A 議会の中で特定の分野について話し合い、調べたり、意見をまとめたりするグループです。

**Q なぜ常任委員会があるの?**

A たくさんの課題について全部を一度に全員で議論すると時間がかかりすぎるので、分野ごとにグループを作つて、効率よく話し合いや調査ができるようにしています。

# 建設消防常任委員会



建設消防常任委員会では、都市計画・道路・公園・下水道・消防など、市民の生活基盤や安全に直結する分野を担当しています。

## 街路樹の問題解決!市の管理計画策定へ

高松市内の市道には数多くの街路樹が植えられており、緑豊かな都市景観の形成や、夏場の直射日光の遮蔽効果、地域の環境保全などに貢献しています。しかし、古い木々は植栽から40年以上経過し、大径木・老木が増加したり、安全性や景観に問題があったり、管理費が増加したりするなど多くの課題を抱えています。

そこで、市民のみなさんからご意見を伺うとともに、先進的な取り組みをしている他都市を視察し、調査を進め、令和5年度、以下のような提言を取りまとめました。

提言

- 街路樹に関する総合計画を策定すること
- 大木や古木など考慮すべき樹木については、カルテを作成・活用し、街路樹の管理を適正に行うとともに、樹木診断を適切に行うこと



《過去のテーマ》  
・中心市街地におけるウォーカブルなまちづくりについて  
・臨海部における土地利用の在り方について など

**Q 市民の意見をどうやって聞くの?**

A 高松第一高等学校の生徒や香川大学の学生など若者たちからの意見を聞く機会を作つたり、テーマごとに市民の皆さんとの意見交換会を開いたりしています。(陳情や請願というかたちで市民の皆さんからの声が議会に届く仕組みもあれば、直接議会・議員にお手紙やお電話をいただく事もあります。)

**Q 活動内容は?**

A 担当分野について市民の意見を聞いたり、問題点を調査したり、適切な対応によって成果を出している他市を視察したりします。そして、市議会全体で決めるべきことをしっかりと考へ、委員会ごとに議案に対する意見や提案を取りまとめた上で、議決します。また調査終了後には所管事務調査の結果をまとめて本会議で報告します。

# 総務常任委員会



総務常任委員会が担当するのは、政策・計画・財政・税務・広聴広報・人事・戸籍など、市民の暮らしを支える行政運営の基盤となる分野になります。

## シティプロモーション「TKMT高松」

多くの人が集まる活力あふれる高松を実現するためには、市内外の幅広い世代から的好印象や親近感が大切になりますが、そのためには、市の価値や魅力の効果的な発信などの、シティプロモーションが重要になります。そこで、市の推進ビジョン策定に際して、市民の皆さんとの意見交換や市のロゴマークやスローガン、ブランドメッセージを作成し、先進的なシティプロモーションの取組を進める他都市を視察するなどして、令和6年度、委員会として提言をまとめました。

提言

- 地域の魅力を生かしたPR(写真や映像の素材の収集・蓄積など)
- シティプロモーションの進め方(TKMTを活用したメッセージのコンテストなど)
- 若年層の参画(幼少期から本市への理解を深める機会の創出など)

こうして議会の意見も反映した「高松市シティプロモーション推進ビジョン」が完成しました。そしてTaKaMaTsuoの頭文字がシンボルとなって市のロゴマークとなり、皆さんの思いや活動をT・K・M・Tから始まる言葉やメッセージとして発信することが、高松のまちの魅力にもなります。あなたのTKMTはですか?共感してくれたユニクロさんとコラボしたグッズも絶賛発売中です。

《過去のテーマ》  
・防災情報の伝達手段について  
・ふるさと納税の推進について など

# 教育民生常任委員会



教育民生常任委員会は、市民の暮らしに直結する重要な分野を所管しています。

教育、福祉、介護、子育て、保健所、国保、病院など幅広いテーマを扱い、市民が安心して暮らせるまちづくりに向けた条例や予算案などを専門的に審査・調査しています。

## 「こどもまんなか社会」の実現へ!「保育業務支援システム」の導入を推進

保育士の負担軽減と、より質の高い保育の提供、保護者の皆さまの満足度向上を図るために、令和5年度には、「保育所等におけるICT化の推進について」をテーマとして調査研究を行い、令和7年4月、市立保育施設に「保育業務支援システム」が本格導入されました。

### 【システム導入による効果】

①QRコードによる登園園管理 出席簿等の作成に係る業務が自動化され、保育士の事務負担を軽減しました。

②欠席・遅刻の連絡 保護者はアプリを使用して園に連絡が可能になり、園では朝の電話対応が軽減されました。

③お便り一斉配信等 園から保護者の皆さまへの連絡の一斉送信が可能になり、紙代の節約にもなりました。また、0歳児クラスでの家庭と園とのやり取りも、連絡帳機能を用いて簡単になりました。



《過去のテーマ》  
・ICTを効果的に活用した教育の在り方について  
・地域と学校との協働体制の強化について など

紙面に関するアンケートに御協力お願いします!!

皆さまの率直なご意見をお待ちしています。





福祉

## 運転免許証返納後の移動環境の構築

高齢者が、免許返納後も豊かな生活を送れるような質移動環境を、どのように構築していくのか。【自民党清新会】

高齢者等が、公共交通を利用しやすい、運賃割引などの施策のほか、公共交通空白地域での移動手段の確保に向けた、段階的なバス路線の再編などに取り組んでいる。

今後、公共交通を利用した、おでかけの機会を創出する仕掛けづくりを含め、新たなサービスの提供に向けた検討を進めるなど、高齢者をはじめ、市民が豊かな生活を送ることができる移動環境づくりに、鋭意、取り組む。

## 障がい者福祉タクシー助成券

障がい者福祉タクシー助成券を複数枚利用できるよううにし、障がい者福祉の向上を図る考えは。【公明党議員会】

当助成券は、一度に1枚しか使えず、自己負担が発生する場合もあるため、利用控えなどにより、利用率は約3割程度にとどまっていることから、現在、複数枚利用など、運用面での見直しについて、高松タクシー協会等の関係者から、意見を伺っているところである。

今後も、障がい者の自立や社会参加を促し、障がい者福祉の向上につながるよう、引き続き、タクシー助成制度の見直しについて、検討を進める。

## 教育 部活動の地域展開

全庁を挙げて部活動の地域展開に取り組む考えは。【自民党清新会】

令和7年11月に開催した総合教育会議では、教育委員の皆様と活発な意見交換を行い、部活動の地域展開により、子どもたちの成長とともに、地域コミュニティーの活性化や伝統産業の継承等、地域振興にもつなげることができるため、本市全体で取り組む必要性を再認識した。

今後、部活動の地域展開が、次代を担う子どもたちの成長を地域全体で支える、持続可能で魅力あるまちづくりにつながるよう、今年度中に庁内連絡会を立ち上げ、全庁を挙げて取り組む。

★QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の質問の動画を視聴できますので、ぜひ御覧ください。

太田安由美（無所属）



## 訪問型産後ケア事業

訪問型産後ケア事業の導入に向けた検討状況は。

現在、医療機関や助産所の施設で、産後ケア事業を実施しているが、施設が遠い場合や多胎児がいる方などは、移動の負担が大きく、利用を控えることがあると思われる。

訪問型産後ケア事業は、自宅で助産師等のサポートを受けられるため、出産後、間もない時期の支援を強化し、必要とする全ての人が利用できるよう、県等と協議し、来年度からの導入を検討する。

五条陽子（無所属）



## 小・中学校体育館の空調設備

市立小中学校体育館は、避難所としても使用する計画となっているが、停電時対応として、自家発電装置の設置は検討しているのか。

ライフラインが寸断された際に、外部から発電機やプロパンガスを持込み、接続することで空調設備が稼働できるよう、機器の導入を検討している。

岡田まなみ（日本共産党議員団）



## 生活応援給付金

著しい物価高騰に対して、一人5千円の給付では少なすぎるため、さらに市の予算で、生活保護利用者を含む低所得者に上乗せする考えは。

食料品価格の高騰は、低所得者や高齢者のみならず、中間所得層も含めた、多くの市民に影響を及ぼしているため、低所得者に限定した上乗せの支援は考えていないが、生活応援給付金を、一日でも早く届けられるよう、取り組む。

## 高松漁港を活用したにぎわい創出

高松漁港を活用した観光振興と海業推進に向けた実証事業の成果と、今後のクルーズ振興の展望は。【自民党議員会】

高松漁港内にオープンした桟橋を拠点として、女木島・男木島の周遊や、高松港を結ぶクルージングのほか、遊漁船を活用した船釣り体験ツアー等の実証事業を実施したところ、多くの参加者から好評をいただき、このエリアの高いポテンシャルを実証できた。

今後も、関係者等との協議・調整を行う中で、高松漁港を拠点とした、クルーズ振興のさらなる可能性を探り、現市場エリアの新たな観光資源の活用と創出に努め、地域の活性化につなげる。

## 防災 大規模災害への備え

大規模災害に備え、平時の備蓄強化と、被災時の支援物資の受入れや、各避難所への物資配送体制の拠点を整備する考えは。【自民党清新会】

市内161箇所の避難所等へ、災害時緊急物資を分散して備蓄しているが、南海トラフ地震の新たな被害想定によると、さらに物資を補充した際の保管場所の確保等が課題である。

まずは、引き続き、備蓄物資の充実に努め、保管場所の課題については、避難所等の保管スペースの現状調査を行い、支援物資の受入れと避難所への配送拠点施設となる、新たな施設の在り方について、他都市の状況を調査し、検討する。

## 観光 観光資源周辺エリアの活性化

観光資源周辺エリアの、さらなるにぎわい創出に取り組む考えは。【自民党議員会】

屋島や玉藻公園などの本市の代表的観光地では、これまでの観光施策の推進等により、多くの観光客でにぎわっている一方、その周辺エリアの商業施設では十分とは言えないため、観光消費などの向上に向け、関係団体と連携し、特産品や土産物等の販売機会を創出することが重要である。

今後、地域の観光消費の向上に資する取組を検討するとともに、回遊性の向上や夜型観光の推進などに積極的に取り組み、観光資源周辺エリアのさらなるにぎわいの創出につなげる。

## 質疑



★QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の質問の動画を視聴できますので、ぜひ御覧ください。

12月定例会

## 代表質問

令和7年第6回定例会は、12月5日から12月23日までの19日間の日程で開かれました。

第6回定例会では、政策課題に対応するための事業の実施に係る、令和7年度高松市一般会計補正予算など57議案を、可決・認定したほか、陳情1件を趣旨採択としました。

詳しい情報は高松市議会ホームページをご覧ください。



★QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の質問の動画を視聴できますので、ぜひ御覧ください。

中西俊介（市民フォーラム21）



質問者・質問の主な内容

政治姿勢、行財政、広報・シティープロモーション、子ども・子育て、福祉、創造都市、まちづくり、災害対策

辻正彦（自由民主党清新会）



政治姿勢、行財政、まちづくり、下水道、福祉、観光、創造都市、瀬戸内国際芸術祭、教育

中村順一（自由民主党議員会）



シティープロモーション、まちづくり、観光、防災、健康、政治姿勢

中村秀三（公明党議員会）



政治姿勢、平和、都市間交流、経済対策、まちづくり、移住・定住・若者支援、防災・減災、福祉、教育

## 政治姿勢

## 高市新内閣への期待

高市新内閣への期待は。

【自民党清新会】

高市新内閣への期待は。高市首相は、就任後の所信表明演説で、物価高対策を最優先事項としたほか、地域資源等による付加価値や関係人口の創出等を通じて、地方に活力を取り戻すなどを表明された。

国内外の山積する課題の解決に向け、責任と信頼のある政権運営が行われ、地方自治を所管する総務大臣を長く務められた強力なリーダーシップの下、地方自治体の最重要課題である人口減少対策や地方創生に、地方自治体等からの声に向き合いながら、迅速に取り組むことを強く期待する。

## 非核平和都市宣言への思い

本市の非核平和都市宣言に対する、市長の平和への思いは。【公明党議員会】

本市は、昭和59年に、世界の恒久平和の実現を目指すため、市議会の総意により、非核平和都市を宣言し、核兵器の廃絶や平和の尊さを訴える啓発等に努めており、宣言にある理念は、しっかりと堅持されるべきものと考える。

今後も、引き続き、市民への各種啓発事業の実施のほか、平和首長会議を通じて、世界の都市とともに、核兵器のない平和な社会の実現を目指すなど、平和行政を推進していく。



行財政

## 公式ホームページのリニューアル

公式ホームページのリニューアルに当たり、基本的な考え方と今後のスケジュールは。

【市民フォーラム21】

市民等へのアンケート結果も踏まえ、利用者側の視点に立った、誰もが見やすく、使いやすいホームページとなるよう、機能や内容、デザイン等を抜本的に見直すとともに、利用者の利便性が向上するホームページの構築を目指し、具体的な検討を進めている。

今後も、広報アドバイザーなどの意見も伺いながら、令和9年度中のリニューアルを目指して、鋭意、取り組む。



★QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の質問の動画を視聴できますので、ぜひ御覧ください。

## 一般質問



筒原勝彦  
(自由民主党清新会)



### 農地の集積・集約化

農業を持続的に発展させていくための農地の集積・集約化の現状と今後の方針は。

答 県やJA香川県等と連携して、地域農業を担う意欲ある農業者への、農地の集積・集約化に取り組み、昨年度の農地集積率は、31.5%まで増加するなど、一定程度進んでいる。今後も、関係機関と連携し、将来を担う農業者の確保・育成や、ほ場整備の支援などに取り組むとともに、地域での話し合いの充実にも努め、農地の集積・集約化を、より一層推進する。



大浦真由美  
(自由民主党清新会)



### 乳がん検診の受診機会拡充

乳がん検診の受診機会を拡充する考えは。

答 乳がん検診は、現在、市内20の医療機関で、平日や土曜日に実施し、年5回の集団検診は、休日にも実施しているほか、県と連携し、乳がん月間である10月の休日をかがわマンモグラフィサンデーとして、医療機関での受診を可能としている。

今後、受診機会の拡充に向けて、特に、医療機関が休診している休日に、可能な限り集団検診を実施し、より受診しやすい環境づくりに取り組む。



多田優子  
(市民フォーム21)



### ユニバーサルデザインの情報収集体制

たかまつホットLINEの仕組みを参考に、市民や当事者からのユニバーサルデザインやバリアフリーに関する情報収集の体制づくりをする考えは。

答 市民参加型の情報収集体制の構築は、ユニバーサルデザイン等に関する多様な視点が取り入れられ、市民の関心を高めることにも有効である一方、ウェブ上で公開されることで、信頼性・客観性の担保等の課題もあるため、今後、バリアフリー等の情報収集に、当事者や多くの市民が参画できる体制づくりを検討する。



妻鹿匡登  
(自由民主党清新会)



### 窓口DXの推進

窓口DXをどのような方針で推進していくのか。

答 窓口DXの推進は、システム導入だけではなく、業務フローを抜本的に見直し、不要な事務をやめるなど、効率的な業務プロセスに再構築する、いわゆるBPRの取組が重要である。

また、市民が来庁せず、スマートフォン等からの手続を可能にすることで、日常生活に寄り添ったサービスを実現することも重要なため、BPRを前提とした、行かない、書かない、待たないを、基本方針として、窓口DXを、鋭意、推進する。



前川幸輝  
(市民フォーム21)



### 農業用水路の受益者の在り方

法定外公共物の維持管理の課題解決に向けた他都市の調査結果を踏まえた、今後の農業用水路の受益者の在り方は。

答 今回の調査では、農業者の減少や高齢化等により、農業用水路の清掃等、維持管理に対する支援を望む声が寄せられており、農業者の減少等に加え、都市化や混住化が進んでいる本市でも、農業者だけで農業用水路の維持管理は困難である。今後、市内の土地改良区の意見を伺うとともに、支援に対する財源の確保にも留意し、受益者負担の在り方を検討する。



太田安由美  
(無所属)



### 身寄りなし問題へのガイドライン

身寄りなし問題について、地域の実情に合わせたガイドラインを策定し、現場が迷わない仕組みづくりを進める考えは。

答 単身高齢者世帯の増加に伴い、今後、身寄りのない高齢者の増加も見込まれるほか、ケアマネジャーなど、支援に関わる人材不足も懸念されるため、今後、魚沼市のガイドライン等も参考にしながら、本市の実情に合わせたガイドラインの策定を検討し、支援の在り方を整理することで、身寄りのない高齢者が安心して暮らせる環境づくりに努める。



★QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の質問の動画を視聴できますので、ぜひ御覧ください。



五条陽子  
(無所属)



### 中学校部活動の地域展開

地域展開の具体的中身が示されず、実施期限だけが間に迫る中、現場への無責任な丸投げと思えるが、教育長の見解は。

答 本市では、部活動の地域展開に向けて、モデル事業やアンケート調査の実施、部活動地域移行支援コーディネーターによる調査・研究等を踏まえ、検討委員会で議論を行ってきた。現在、関係機関や関係団体と連携し、順次整理を進めており、今後は、文部科学省から示される予定のガイドラインを踏まえた準備を着実に進め、円滑な部活動の地域展開を実現していく。



香川洋二  
(自由民主党清新会)



### アルファ世代への本市ブランドの普及

アルファ世代に本市のブランドを普及させる考えは。

答 アルファ世代を意識した取組は、シビックプライドを醸成する観点からも重要であるため、今後、教育委員会と連携し、高松国際ピアノコンクール入賞者による、学校訪問リサイタルなど、特色ある取組のほか、T KMTを活用した、小中学校への出前授業等も積極的に行う。さらに、総合的な学習等で、本市の地域資源などのブランドについて考える機会を設け、子どもたちのアイデアも生かしながら、アルファ世代へのブランド普及に取り組む。

アルファ世代…おおむね2010年から2024年頃に生まれた世代で、幼少期からSNSやオンライン教育にじんじんでいることなどが特徴。



大西智  
(市民フォーム21)



### 中小企業等の賃上げ

中小企業等賃金引上げ奨励事業を継続的に実施する考えと、賃上げの成果を見る化して相乗効果につなげる考えは。

答 本事業の継続的な実施は、国の総合経済対策において、「中小企業・小規模事業者の賃上げ環境整備」が、重点支援地方交付金の推奨事業メニューに追加されたことも踏まえ、今後の国等の動向に注視し、検討する。また、賃上げの成果の見える化は、市内全体での賃上げへの機運醸成が期待されるため、相乗効果が得られるよう、奨励金を交付した中小企業等へのアンケート調査の実施を検討する。



中村伸一  
(公明党議員会)



### 終活支援の強化

もしものときに備える終活支援を強化する考えは。

答 本市では、終活を支援する民間団体と連携して講座を開催し、終活の意義や事前準備の必要性について周知するほか、終活の進め方のポイントや相談窓口をチラシにまとめ、ホームページへの掲載や関係団体への説明などを行っている。今後、終活に関するチラシをブラッシュアップし、葬儀や相続等の必要な情報を記載するエンドイングノートの作成に、新たに取り組むなど、終活支援の強化に取り組む。



白石義人  
(自由民主党議員会)



### ことん元山駅の利用環境の改善

地域住民のニーズを的確に捉え、交通事業者と連携・協力し、ことん元山駅の利用環境の改善に取り組む考えは。

答 本市では、駅舎の利用環境の改善に向け、県と連携し、トイレをはじめ、駅舎施設のバリアフリー化への支援を行っており、本駅は、利用者数が増加傾向にあることから、公共交通の利用促進や利用者の利便性向上のため、トイレの改修や駐輪場の増設など、駅舎施設や利用環境の改善に向け、今後、ことんとの協議、調整を進める。



藤沢やよい  
(日本共産党議員団)



### 加齢性難聴者への補聴器購入助成

全国で広がっている補聴器購入助成制度を受け、本市でも補聴器購入助成を実施する考えは。

答 加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度の創設は、地域により、その内容に格差が生じることのないよう、国が、適切な措置を講ずべきものであるため、現在のところ、本市独自の助成制度を創設する考えはないが、引き続き、国や県の動向を注視し、全国一律の補助制度を創設するよう、全国市長会を通じて、国に働きかける。

大見昌弘  
(自由民主党清新会)

## 合併処理浄化槽の補助金の申請

質 募集期間全てで、補助基数を大幅に上回る申込みがある、合併処理浄化槽の設置補助金の申請状況と今後の対応は。

答 申請の運用見直しや予算拡充を行ったが、本年度は、申請者が増加し、補助を受けられなかつた方が、さらに増えており、合併処理浄化槽への転換意欲の低下につながる懸念がある。

今後、利用申込みの多い、5人槽から10人槽の申請者を対象に、複数回申請をされている方が、極力、補助を受けられるよう、改めて、運用を見直し、予算の拡充も検討する。



## 情報BOX 傍聴者への託児サービス・手話通訳

高松市議会では、開かれた議会を目指すため、傍聴者への本会議での託児サービス及び本会議・委員会での手話通訳を実施しています。

事前に申込み（託児サービスは一週間前まで、手話通訳は5日前まで）が必要となりますので、詳細につきましては、高松市議会ホームページを御覧いただくか、高松市議会事務局（TEL839-2808）までお問合せください。

崎山美幸  
(自由民主党清新会)

## コミュニティセンターの開放

質 コミュニティセンターを、中学生の自習や放課後の居場所として開放する考えは。

答 中学生の居場所としての活用は、多世代交流や地域全体で子どもたちを育てる仕組みづくりや、将来の担い手確保等にもつながる一方、センター内でのスペースの確保が課題である。

今後、地域コミュニティ協議会の職員向け研修等で、提案の取組を先進事例として紹介するとともに、オープンスペースのないセンターが事業の実施を希望する場合は、貸館予約の入っていない部屋を開放するルールづくりなど、支援に努める。

牟禮俊也  
(自由民主党清新会)

## 鳥獣被害防止へのICTの活用

質 赤外線と高感度光学カメラを搭載した、ドローンのデモンストレーションが鳥獣調査で実施されたことに対する評価は。

答 民間事業者が実施した、ドローンを用いた鳥獣調査のデモンストレーションに参加した本市職員からは、高い精度で対象物を認識し、夜間などの検索も可能で、飛行音が静かなため、近隣住民への影響も少ない等の報告を受けており、赤外線カメラと高感度光学カメラを搭載したドローンの活用は、鳥獣被害の防止等に、一定の効果があると評価している。

## 高校生・大学生との意見交換会の開催

令和7年9月から10月にかけて、高松第一高等学校の生徒や、香川大学の学生と高松市議会議員による意見交換会を開催しました。

4つの常任委員会が調査研究しているテーマを題材に、学生の視点から貴重な御意見や御提案をいただきました。皆さんからいただいた御意見等は、市当局に対する施策提言に盛り込み、市政に反映させてまいります。

▲香川大学学生との意見交換会  
◀高松第一高等学校の生徒との意見交換会

## 賛否が分かれた議案等審議結果一覧

審議の結果、議案等のうち21件について、採決に当たり次のとおり賛否が分かれました。賛否については、賛成の場合は○を、反対の場合は×を、会派内で意見が分かれている場合は△を表示しております。

件名	議決結果等	会派別賛否						
		自由民主党 清新会	市 フォーラム21	民 議員会	公明党 議員会	自由民主党 議員会	日本共産党 議員団	無所属 太田議員 五条議員
市長提出議案	可決	○	○	○	○	○	×	×
	可決	○	○	○	○	○	×	×
	可決	○	○	○	○	○	×	○
	可決	○	○	○	○	○	×	○
	可決	○	○	○	○	○	×	○
	可決	○	○	○	○	○	×	○
	可決	○	○	○	○	○	×	○
	可決	○	○	○	○	○	×	○
	可決	○	○	○	○	○	×	○
	可決	○	○	○	○	○	×	○
継続審査案件	認定	○	○	○	○	○	×	×
	認定	○	○	○	○	○	×	○
議員提出議案	否決	×	△(賛成4/反対3)	×	×	○	○	×
	否決	×	○	○	×	○	○	×
	否決	×	○	○	×	○	○	×
陳情(注1)	趣旨採択	○	×	×	○	×	×	○

\* 全議案等の審議結果については、市議会ホームページを御覧ください。

注1:陳情については、趣旨採択することに賛成の場合は○を、反対の場合は×を表示しています。(議案については、原案に賛成の場合は○を、反対の場合は×を表示しています。)

